

データセンターと地域の未来を考える

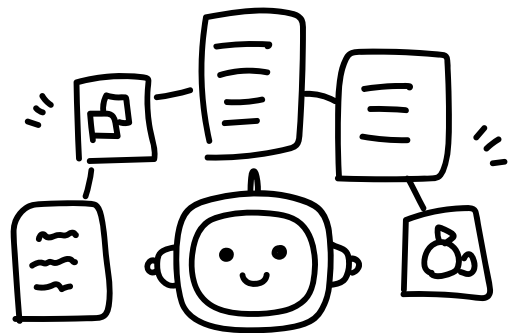
話そう、

データセンターと 私たちの暮らし



日時

8月7日 2026年
日 [金]
14:00-16:00

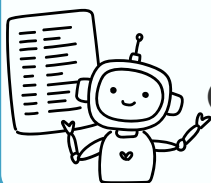


内容

八王子やその周辺でもデータセンターの建設が予定されています。スマホパソコン、AIの便利さの裏側で多くのデータセンターによりデータ処理がされており、私たちの生活には不可欠なものとなっています。しかし、そのために使われる大量の電気や水、周辺の環境に及ぼす影響を考えなければなりません。私たちはどのように向き合っていけばよいのか、水と緑のカワセミ会の清水靖子さん、先月、市議会の一般質問でデータセンターについて取り上げた市議会議員の金子アキコと共に話しませんか。

話題提供

- 清水靖子さん
水と緑のカワセミ会
- 金子アキコ
八王子市議会議員



資料代

500円 (18歳以下無料)

お申し込み

先着30名

申し込みフォーム→

申し込み・問い合わせはこちら↓

hachioujinetkikaku@gmail.com



事前の
ご質問も
お受けします♪

会場

北野事務所 2階 (大会議室)

北野駅徒歩3分

八王子市北野町549番地 ※駐車場あり



主催

八王子・生活者ネットワーク

データセンターって何？

データセンターは、私たちが使うAIやクラウドサービス、SNS、動画配信などを動かすために、**24時間365日**、膨大なデータを処理・保存する施設です。

こんなサービスを支えています



AI・生成AI



クラウドサービス



動画配信



SNS・メッセージ



ネットショッピングなど



① 大量の排熱が発生しています

サーバーは24時間フル稼働。大量の電力を使うことで、施設内は高温になり、常に冷却が必要です。

排熱の影響（懸念されること）



周辺の気温上昇

排熱が大气に放出されることで、周辺地域の気温上昇やヒートアイランド現象の悪化が懸念されます。



住環境への影響

冷却設備の室外機からの熱風が、住宅に近い場所では、生活環境に影響を与える可能性があります。



電力需要の増大

冷却のためにさらに多くの電力が必要となり、地域の電力供給に負荷がかかります。

排熱はどうしているの？

空冷式（一般的）

室外機のファンで外の空気を使って冷却。
→ 熱が外に放出される



水冷式（増加中）

水でサーバーを冷やし、その熱を冷却塔などで放出。
→ 熱は水と一緒に外へ



どちらの方式でも、最終的に熱は外に出ます。大量の排熱は、地域の環境にさまざまな影響を与える可能性があります。

② 大量の水が使われています

サーバーの冷却には大量の水が必要です。特に水冷式のデータセンターでは、私たちの生活や自然環境にも影響を及ぼす可能性があります。

どのくらいの水が使われるの？



一般的な水冷式データセンター（中規模）では、1日あたり数百トン～数千トンの水を使用するともいわれています。

例）25mプール（約500t）に換算すると…
1日で1～数十杯分に相当



水の使用による影響（懸念されること）



水資源の負担

大量の水をくみ上げることで、地下水や河川の水位低下につながる可能性があります。



水質への影響

冷却に使った水が排水される場合、温水による河川や生態系への影響が懸念されます。



渇水時のリスク

水資源が限られる地域では、生活用水との競合が起こる可能性があります。

水は、地域の貴重な資源です。将来にわたって持続可能な利用が求められます。

データセンターと、地域の未来を考えよう

AIの発展やデジタル化の進展により、データセンターの需要は今後さらに増えると予想されています。だからこそ、私たちの地域で「どこに」「どのように」つくるのか、しっかり考えることが大切です。



知ることからはじめよう

データセンターの仕組みや影響を正しく知ることが、考える第一歩です。



声をあげよう

地域の環境や暮らしを守るために、市民の声を行政や事業者届けましょう。



持続可能な未来へ

環境への影響を最小限にし、地域と共生するデータセンターのあり方を考えましょう。

便利さの裏側を知ることが、私たちの未来を守る力になります。

市議会議員 金子アキコ

が八王子市議会で質問しました

2026年第2回定例議会 一般質問

《データセンターと地域の未来を考える》

現在、多摩ニュータウン地域に本市初のデータセンター*建設が持ち上がっており、周辺住民より不安の声が寄せられています。

大量の電力消費に伴うCO2排出量増大や排熱等、環境影響が懸念されるにも関わらず、都市計画上の用途地域の制限が無いに等しく、環境アセスメントの実施が不要であることなど、データセンターについて法的規制がない現状は問題です。

用途地域、環境影響、市民への情報公開の側面から質問を行ったところ、今後データセンターが建設される際には、国の規制がないことから住宅地周辺に建設される可能性は避けられないとしつつも、事業者に対して環境影響を考慮して再生可能エネルギーや排熱利用を行うよう働きかけ、早期段階からの住民説明や協議の調整に努めていくとの答弁がありました。

